

ウナギ、フナ 大きく育て

24.11.13
宮日

広瀬小5年生放流体験

石崎川

宮崎市佐土原町の広瀬小
(東園二明校長、703人)
の5年生133人が7日、近
くの石崎川でウナギとフナの
放流体験をした。石崎川水系

環境保全対策連絡協議会と佐
土原河川浄化推進協議会が主

催。児童たちは身近な河川へ
の理解を深めた。

同校で事前学習があり、佐
土原総合支所地域総務課の森
潤一郎主査が河川の役割や環
境保護について説明。「地球
上にある水で飲み水になるの
はほんのわずか。その貴重な
水をすべての生き物で分かち

合うので大事にしましょう」
と呼び掛けた。

児童たちは石崎川堤防に移
動し、ウナギ約1200匹と
ヘラブナの稚魚約15
00匹を放流。魚の入
ったバケツを2人一組
で持って「元気に育つ
て」「ぬるぬるする」
などと声を上げながら
川に放っていた。

黒木瑞月さん(11)は
「川が汚れると魚がす
めなくなるので大事に
しようと思った。ウナ
ギがつかみにくかった
けど放流は楽しかった
」と話していた。



バケツからウナギを放流する児童たち